

総代になると① 総代優先企画に参加できます!

「Tohto Fan Meeting」として、総代優先で募集される企画に参加できます。
2025年度はこんな企画が開催されました。

清潔な建物の中で、
周りの環境にも配慮されている
ところが素晴らしい



工場内のラインを見学

草加・八潮 セットセンター de 社会科見学

商品の温度管理や、班や個人ごとに
仕分けする流れ、労働環境など、普
段見られない現場を知る機会とし
て、見学会を実施しました。



袋掛けと印字ラベルの貼り付けは
自動化

鮮度を保つための工夫や
仕分けをする皆さんの
手際の良さにびっくりした



産地から
届いた青果物が
どのような工程を経て
私たちの元に届くのか
よく分かった

積み込みは
ロボットアームが大活躍!



ランプで確認しながら
循環箱にセット

たくさんの人の手により
確実に届けられることに
感謝です

見学会を終えて集合写真をパチリ!

JAやさと 朝日里山学校 (茨城県石岡市) 交流訪問

東都生協と40年以上のつながりを持つ産直産地、JAやさとを訪れ、生産者の皆さんと交流しました。



畑で有機農業の話をつたったのが印象的でした

JAやさとの生産者と交流しながらピザ作り



東都生協と産地の
取り組みについて三学舎会

自然を相手にする
苦労を伺い、
これからも応援したいと
思いました



小松菜の収穫体験

ふかふかの土の
心地よさが
忘れられません

収穫体験をしながら
農家の方々とお話しできて
楽しかった



校庭の満開の桜の下で

いちご狩り

こんな○○ あったらいいな

～あなたの声で、もっと身近な生協に～



「総代」というと、どのようなイメージを持ちますか?
「会議に出て発言しなくてはいけない」
「平日に時間がないとできない感じ」
「商品に詳しく組合員歴が長い人」などなど、ハードルが高いと考える人が多いと思います。実際に総代になった方がどう感じているのかをMOGMOG編集委員会がインタビューしました。

Q1 総代になったきっかけは?

JA やさと・朝日里山学校(茨城県石岡市)の企画に参加したのが大きなきっかけでした。子どもと一緒に参加したのですが、おいしく楽しい時間を過ごせました。

バスの中で、総代の活動について詳しいことが聞けて、「これなら自分にもできそう」と感じたんですよ! 総代優先企画があるのも魅力でした。

Q3 総代になって変わったことは?

総代活動を通じて、お薦め商品の学習や、セットセンター見学を経験する機会がありました。良さが分かってくると、以前は値段が高いと感じていた商品が、手頃な値段に感じられるようになりました。調味料のリユースびん容器は扱いにくいと思っていましたが、安全・安心で味も良いので、購入することが増えました。

総代は、オリエンテーションや総代会議に出席したり、声カードで意見を出したりする役割なのですが、実際に会議に参加して運営状況を生の声で聞き、東都生協の一員としての意識が高まりました。どんな意見も受け止めてもらえる雰囲気があり、日頃から思っていることを発言できました。「こんなこと思っているのは自分だけかな?」と思うようなことでも、率直に伝えられて、気持ちもすっきりします。

総代歴3年 伊豆倉 輝幸さん

コロナ禍が始まったころ東都生協に加入しました。ちょうどその頃に定年退職して時間ができたので、「このゆびとまれ」に登録しました。「意義ある活動をしているなあ」と東都生協の理念に共感していたところ、職員からお誘いがあり、引き受けました。産地との交流イベントに参加するようになり、食への関心が深まりました。「産地直結」、健康に配慮した「食の安心」。牛乳の飲み比べに参加して、酪農の後継者不足問題があることも総代になって分かったことです。友人にも東都生協を勧めました。

東都生協の理念に共感して総代に。友人にも勧められています。

総代歴3年 大野 千景さん

地域で組合員活動をしていたのですが、その時にお世話になった職員に声を掛けてもらったのをきっかけに総代になりました。総代会議ではグループに分かれての分散会があるのですが、その時間に、他の総代の皆さんとお話しできるので楽しいです。総代限定の企画「Tohto Fan Meeting 草加・八潮セットセンター de 社会科見学!」に参加して、どのようにして商品が自分の手元に届くのか知ることができたのもよかったですね。

いろいろな人と交流できる機会ができて楽しいです。

総代になると

「試食品」が年に4回届きます！

年4回の会議の前に「試食品」が届きます。試食後には試食アンケートを提出します。組合員の声をメーカーや産地に届ける仕組みの一つです。

2026年度の試食品は選定中です



東都 しょうゆラーメン

パッケージは地味ですが、本格ラーメンの味。ただ煮込むだけで簡単に食べられます。



東都 冷凍とろろめかぶ

大きさがちょうど良く、たれの味も濃すぎず良い。冷凍なので保存がきく。



東都 北海道鮭荒ほぐし

着色料やうま味調味料などが添加されており、安心して子どもに食べさせられます。



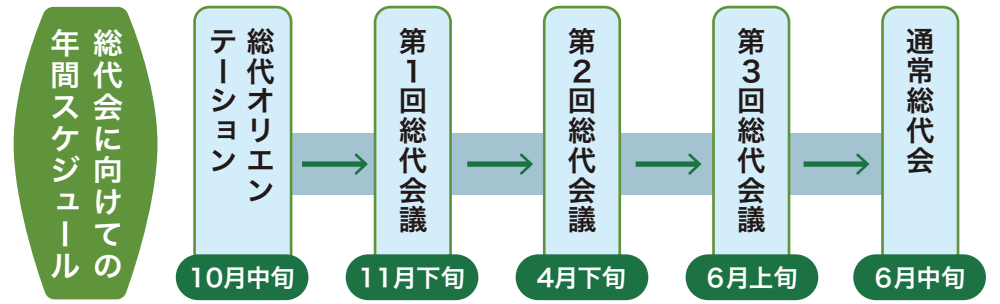
東都 とろ火炊き昆布豆

甘さも思ったより控えめでちょうどよく、あつという間に食べてしまいました。

総代とは？

「生活協同組合」は株式会社とは違い、組合員一人ひとりが出資金を出し合いみんなで運営します。東都生協は現在組合員が約26万人。意見を出し合う「総会」に全員が出席することは難しいため、組合員の代表として550人を「総代」として選出し、総代会を開催しています(2026年度)。

総代の任期は1年間です。2026年度総代の任期：2026年10月～2027年10月ごろ



昨年の第51回通常総代会の様子

- 総代会議は、集会型とオンライン型から選択できます。集会型は、複数会場で午前・午後に開催する予定です。参加しやすい方法を選んで出席できます。
- 総代会や総代会議に出席する場合は、東都生協のイクサポ(無料)を利用できます。イクサポは、小さなお子さんを持つ組合員が活動に参加しやすいように、活動時間に1歳以上のお子さんを保育する組合員同士の助け合い活動です。

「総代」は難しい役割ではありません。組合員のあなたが、ずっと東都生協の組合員であり続けるために、東都生協は組合員の皆さんからの意見や要望に応じていきます。

さらに賢い消費者になるために、あなたの一言でもっと利用しやすい東都生協に。あなたもこの10月から総代になってみませんか？

総代に興味のある方はこちらから→

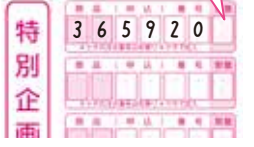


「未来につなぐ募金」は、組合員から集まった募金を東都生協の商品に換えて、「子ども食堂」や「フードパントリー」などを行っている団体を支援するかたちを取っています。次回の注文から、優しさのお裾分け、始めませんか。

商品の注文と一緒に支援できます

募金方法は、注文書の特別企画欄に【365920】と記入し、数量欄に口数を記入します。1口200円です。Web注文サイト「とうとねっ」と、電話注文でも募金ができます。

1口 200円



団体名 荻窪遊ぼう会

設立 2019年9月 代表者 小林 英子さん 活動拠点 杉並区周辺地域
活動内容 外出イベント・名作映画鑑賞会・大人の食堂
メンバー 11人
ボランティアの受け入れ あり
広報ツール チラシ配布、ポスター掲示、直接お知らせを配布、口コミなど



彩りもきれいなお弁当にワクワク！



食事の後はレクリエーション

ひとりでテレビを見ながら食べているからうれしい」「人と話をしながら食べるのは久しぶり」と皆さんの口からうれしい言葉が…。もちろん「おいしい」の言葉も飛び交います。ひとりで参加した男性も「初めまして」の輪に入り、笑顔がこぼれます。食事の後は歌の時間、そして指を使った体操。地域包括支援センターや高齢者施設の職員、同館の皆さんと最強の応援部隊に支えられ無事、会はお開きとなりました。代表の小林さんは「これからも高齢者の孤独や引きこもりを防ぎ、地域とのつながり関わり合いを持ちながら楽しい居場所をつくっていきたい。子どもたちとクリスマス会やお茶会などもできれば楽しいだろうな」と夢は膨らみます。早朝からの準備、疲れはピーク。でもなぜか心地よい疲れです。楽しく会場を後にする皆さんをスタッフ全員が笑顔で見送る姿が印象的でした。

おいしいお弁当に会話も弾みます

未来につなぐ募金

誰もが安心して暮らせる社会のために

助成団体紹介 Vol. 34

あなたの居心地のよい場所・時間をみつけよう！つくろう！

家の中でこもりがちな高齢の方に、一緒に外出することで、参加者全員で楽しもうという目的から会を発足。普段は会の拠点となる杉並区立「ゆうゆう荻窪館」で毎月の映画鑑賞や年2回の美術館や博物館の訪問、お花見など楽しい企画を開催してきました。2023年からは、新たに「大人の食堂」も開催しています。しかし、このゆうゆう館には調理場がないため、別施設で行ってききましたが、「普段利用しているゆうゆう館で食べたい」との要望があったため、別施設で調理した食事をゆうゆう館に運んで食べる「出前大人の食堂」を企画しました。調理をするチーム、会場を整えるチームに分かれ準備は万端。普段から孤食になりがちな人に声掛けし、あつという間に満員御礼となりました。ワクワクしながらお弁当のふたを開けると大歓声が!!「いつも



外出するのがおっくう。人と関わるのが煩わしい…。歳を重ねると、だんだんと面倒に感じるが増えてくるのは事実です。しかし何もしないまま一日が過ぎていくのは、なんとももったいないことです。社会的に孤立している高齢者は、そうでない人に比べて認知症の発症リスクが高くなるといわれています。また健康維持や生きがいを見つける上でも、人とつながりはとても大切です。自治体や地域には気軽に参加できる「つどいの場」があります。誰もが人とのつながりを大切に、いつまでも元気でいたいものです。ひとりで参加してもひとりではありません。元気に生き生きと。そこには意外な発見があるかもしれません。

column 高齢者の居場所づくり

